

平成29年度第6期第7回中原区区民会議

日時 平成30年3月14日（水）14：30～
場所 中原区役所5階 501会議室

午後 2 時30分 開 会

出席者：成田委員（委員長）、井上委員（副委員長）、橋本委員（副委員長）、伊藤委員、
岩崎委員、内田委員、梅原委員、小野山委員、梶川委員、鈴木晴美委員、
関口委員、田邊委員、中森委員、萩原委員、森委員、柳沢委員

【委員 16 名】

大庭参与、押本参与、重富参与、末永参与、松井参与、松原参与、川本参与、
君嶋参与【参与 8 名】

向坂区長、永山副区長、池谷担当部長、峰部長、大塚所長、浅川副所長、
南担当部長、山田所長、村田課長、松山課長、小野企画課長、
相澤課長補佐、中野職員、澤村職員、山口職員

【事務局（中原区役所）15 名】

岩下【コンサルタント（㈱カイト）1 名】

傍聴者：なし

1 開会

司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから第 6 期第 7 回中原区区民会議を開
催いたします。本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます副区長
の永山でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第 6 条第
2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、本日の会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、
公開することとなりますので、御了承いただきたいと存じます。

本日、安藤委員、児玉委員、山崎委員につきましては欠席との御連絡をいただいております。
また、鈴木晴美委員、鈴木功士委員は遅れて出席されるとの御連絡をいただいております。

市古参与、川島参与、原参与、滝田参与につきましては、所用により欠席との御連絡を
いただいております。

それでは、中原区長の向坂より御挨拶を申し上げます。

区長 皆様、こんにちは。年度末のお忙しいところお集まりをいただき、ありがとうございます。
ことしに入って大分寒い日が続いておりましたが、きょうはぼかぼかと暖かい春
日和となつてまいりました。陽気もこういった形でよくなつては来ているんですけど
も、すみません、私はかなりの花粉症で、鼻もぐずぐずしているところですが、御容赦
いただきたいと思います。

第 6 期の区民会議の皆様におかれましては、平成 28 年 7 月からのスタートということ

で、任期はまだ6月までございますけれども、本日が本会議の最終日ということで予定をされております。この会議でまだこの先の報告会ですとか、報告書のつくりというところも御議論いただくことになっておりますけれども、一応全員でこういう形で集まるということは、予定ではここで終わりという形になっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。この6期におきましては、「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということをテーマに、いろいろな地域の課題を抽出していただいて、議論を重ねていただいております。防災の意識の啓発とか、総合災害マップの掲載方法、情報の伝達など、課題解決に向けたさまざまな提案がいただけると思ひております。さらに、本年度は区民会議による提案内容の取り組み実践ということもかなりいろいろなイベントで行っていただきました。2年間になります、区民会議に御尽力いただきましたことをこの場をお借りして皆様に感謝申し上げたいと思ひます。ありがとうございます。ここで区民会議が第6期をもって一旦休止となっております。今後新たなコミュニティに関する組織のあり方、仕組みについて全市的に考えていくことになっておりますので、今後ともぜひお力添えをよろしくお願ひしたいと思ひます。

では、いろいろと季節の変わり目ということもござひます。皆様におかれましても健康にくれぐれも気をつけていただいて、ますます御活躍をいただきたいと思ひております。まだまだ6月まで一緒におつき合いをいただくことになると思ひますけれども、この会の開会に当たっての私からの御挨拶とさせていただきます。本日は御議論のほう、どうぞよろしくお願ひいたします。

司会 続きまして、事務局より本日の資料の確認をさせていただきます。

事務局 事務局から資料の確認をさせていただきます。

まず1枚目、本日の次第でござひます。次に、別添1といたしまして座席表、別添2で委員及び参与名簿の一覧でござひます。それと、本日の議題の資料でござひます。資料1、資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料3、資料4、以上がA3の資料になります。それと、資料5の区民会議報告書構成案、参考資料1の区民会議スケジュール(案)ということでA4の紙が1枚。それと、参考資料2と参考資料3は、第6回と第7回の区民会議運営部会の会議録をつけさせていただきます。あと、参考資料4は「区民会議の取組」の冊子ということで、こちらは第1期から第6期の総括といたしまして、2月2日にエポックなかはらで行いました区民会議意見交換会の際に配付されたもので、本日改めてお配りをさせていただきます。それと、参考資料5も2月2日に行いました意見交換会の報告書と、12月に各委員にアンケート調査をお願いさせていただきましたが、その結果も一緒に綴っております。参考資料6は、1月下旬に各町内会に回覧という形でお配りをさせていただきました区民会議だよりを本日御用意しております。それと、区民会議の中間報告書の写しということで、本日は区民会議の報告書の構成案を審議する関係で、参考までにつけさせていただきます。

それと、資料とは別なんですけれども、区民車座集会の開催案内のチラシを皆様方に御用意しております。こちらにつきましては、3月18日に区役所で行うものでございますが、区民会議といたしまして、中原区総合防災訓練部会の部会長であります内田委員がこの日に出席をされます。

資料につきましては以上でございます。

司会 以上、資料について確認をさせていただきました。資料が不足している方はいらっしゃいますか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ここからの進行につきましては成田委員長にお任せしたいと存じます。成田委員長、よろしく願いいたします。

成田委員長 では、ここからの審議は閉会まで私のほうで進行を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

改めて皆さん、こんにちは。実は昨日ですが、第4期区民会議の委員長であります川連昌久さんよりお便りをいただきまして、いつも毎年楽しみにしております桜とハナモモがことしはまだ全然咲いてくれないので写真が撮れないというお話をいただきました。ようやく今日あたり、ぱあっと一気に暖かくなってきましたので、恐らくもうしばらくすると待望のお写真が撮れるんじゃないかと思っておりますが、暖かくなった分、皆さん方も眠くなったり、花粉で苦しまれる方々も多いかと思いますが、恐れ入りますが、最後までお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

また、本日は区民会議がいよいよ最後だということで、会議の終了前に皆様方より感想等をお1人ずついただきたいと思っておりますので、今からちょっとその心づもりをしていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

2 会議録確認委員の選任

成田委員長 それではまず、会議録確認委員の選任をいたしたいと思っております。前回は鈴木晴美委員と関口委員をお願いいたしましたので、今回、名簿の順番で田邊委員と中森委員をお願いしたいと存じます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 よろしく願いいたします。

3 議題

成田委員長 それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。

(1) 取組検討・実践部会報告

成田委員長 まず初めに、1番の取組検討・実践部会報告を各部会からお願いしたいと思います。

います。一番最初に、川崎フロンターレ親子サッカードリーム教室部会の部会長であります井上副委員長より報告をお願いいたします。

井上副委員長 皆さん、こんにちは。もう5カ月も前になってしまうんですけども、報告をまだ済ませていないということなので、中原親子サッカードリーム教室で行いました体験型防災プログラムの報告をさせていただきます。

ちょうど5カ月ぐらい前になると思うんですけども、昨年10月15日の日曜日に等々力陸上競技場で中原親子サッカードリーム教室が行われました。あいにくの雨で、当初予定していた500組1000名から当日は約310組ぐらいの参加で実施されました。とはいっても、区民会議が主体となって行いました体験型防災プログラムは、メインスタンドのコンコースのところで実施しましたので雨の影響もなく、ここに参加していただいた方たちにはこのプログラムにおおむね参加していただいたということでしたので、目的としては達成できたんじゃないかと思っています。

ここに書いてある各ブースが全部で6ブースあります。全てここの区民会議の委員の方が各担当を決めて主導となっていただいて、防災について小学校1年生から6年生の児童とその親子に体験していただきました。

まず、梅原委員にやっていただいたロープ結びの体験教室は約80名の方に参加していただきました。

外国人とコミュニケーションというのは、災害時にこの地域に住んでいる海外の人たちも被災された方たちと同じ状況になりますので、そういう方たちとちゃんとコミュニケーションをとって、手をとってこういうことに対して対応できるようにということでこれを行ったんですが、思いのほかすごくたくさんの方に参加していただいて、当日用意した資料とかは大体250枚ぐらいあったんですけども、全て手にとって持って行っていただくことができたという報告がございました。

それと、東京ガスさんの御協力で、携帯トイレの使い方という啓発もさせていただきました。こちらも、全体の時間で言うと大体11時から2時半までの約3時間半だったんですけども、その時間の中でも48名の方に触れていただいたという御報告が上がっています。

車いす体験は、これもコンコースの中だったんですけども、当日係の方が障害物をいろいろ置いたり、コーンとバーでコースをつくったりということで工夫していただいて、50名の方に参加していただけたそうです。

非常食体験は、いろいろ調理もしないといけないということで準備も初めから大変だったと思うんですけども、当日は約300名の方に来ていただいて、非常食というくくりの中でも、災害時の中でも暖かい食べ物であったり、ちょっと工夫すれば食事のところで気が紛れて、精神的にも多くの方が救われるというのが実証できたということもあって、参加した方たちにもすごくいい体験だったようです。

最後に、クイズラリーということで各ブースにクイズを置いて、今まで私のほうで報告させていただいたブースを全て回ってゴールに来ていただけたら防災グッズ等を渡すということだったんですけれども、こちらは当日500組600枚用意したものが、310名にもかかわらず、400枚はけたということなので、児童だけではなく、連れで来ていただいた方たちもクイズラリーに参加していただけたということでしたので、当初の目的としていました、防災に関心がない方に防災の意識を持っていただくという取り組みとしては成功できたんじゃないかというのを感想として持っています。

以上になります。

成田委員長 続きます、中原区総合防災訓練部会の部会長であります内田委員より報告をお願いいたします。

内田委員 それでは、防災部会より発表したいと思います。

当初、この部会を立ち上げたときには、中原区区民会議の中で何ができるのだろうかということで話し合いました。いろいろ防災に関しての、そして、テーマである「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということで、私たちに何ができるんだろうかということで話し合いました。ここに出ています在宅に関すること、震災にすること、避難所開設に関すること、議題はいろいろ出ました。そして、1つとしてちょうど話がまとまりつつあるときに中原区総合防災訓練が実施されるという情報を得た中で、それでは、中原区区民会議の中で災害に対しての情報共有をしようということで、まず防災に関しての私たちの知識を共有しようという話になりまして、平成29年9月3日、川崎市立大戸小学校の防災訓練にみんなで視察に行きました。本来、このときにも、会議の中では1カ所ブースを設けて我々が出店し、これに協力できないだろうかという話も出たところなんですけど、私たち委員の中でも防災に関しての考え方に違いが出てきて、それをまとめることがとても難しかったので、何しろ皆さんと一緒に、防災訓練はこういうふう運営されているところを体験するために行きました。そして、この中では、よく防災訓練でやられている炊き出し、煙体験、消火ホースキット、水消火、あるいはロープワークということで、各ブースでそれなりの専門家並びに町会によるいろいろな催し物を見ることができました。それに基づいて参加したメンバーの中でアンケートをとることができました。

いわゆる備蓄は3日間ということがありましたが、もう3日では難しいのではないかと、やはり1週間分ぐらいいはあってもいいのではないかとことを話し合いました。それから避難所開設においても、災害があっても自宅での避難ができないときには本当にここに来なくてはいけないのか、あるいは自宅避難というものもあるんだよねという話が出ました。そして、この小学校の中では、川崎市で発行されている「備えるかわさき」という小冊子に基づいた地震発生直後のその日の体験、数時間後の体験、翌日以降、3日目以降というレイアウトがされていて、それを感じることができました。

それに基づいて、その後、2回目が平成30年2月11日に川崎市立上丸子小学校で行われ

るといふことで、これに対しても話し合いの部会を設けました。このときにも、防災に関して区民会議として何か残るようなものはできないだろうかという多くの議論も出たんですけども、防災の訓練に関して、委員のメンバーの中でも地域で活躍されている委員、それから、地域ではそれほど参加されていないということがありまして、それをどのような形にということをお話ししました。

それでは、前回行った1回目の知識を踏まえて、2回目は見学をしながら、さらに私たちの意識改革につながるようにもっと意識も深めようということ、2月11日も見学をすることができました。やはり会場のレイアウトは、その日の地震直後のこと、数時間後、翌日、アウトドアのグッズ等、結構先進的な機材が置かれて紹介されていると感じることができました。そしてこのときも、前回の戸小学校で出された方々もいらしたんですが、それを踏まえてアンケートをとらせていただきました。やはり1度見て、2度見るといふのはかなり体験につながったかなと感じているところです。

上丸子小学校は風水害を取り上げていたので、避難所開設後、本来であれば自宅、避難所が一番いいんだよねと。やはり避難所は160人までキャパシティーがあるよとは言いながら、その中で生活するといふことはかなり難しくなるように感じました。当然備蓄といふことにもつながるかと思ひます。そして、前回見たところから今回見たところ、参加したメンバーにはそれなりの知識がさらに身についたかと思ひます。今後、災害に強いまちづくりに対しての個々の地域における有力なるメンバーになって、活躍が期待されると思ひれます。

といふことで、我が防災部会の報告としたいと思ひます。

以上です。

成田委員長 続きまして、中原区総合防災マップづくり部会の部会長でいらっしゃいます萩原委員より報告をお願いいたします。

萩原委員 資料3をごらんくださいませ。中原区の総合防災マップにつきましては、この区民会議ができてから、ぜひ区民会議としてこれを実現させたいと思ひておりました、途中までもずっとその話がありましたところ、去年ぐらいに防災マップ自体が外されそうになったので大変抗議をして、これこそ区民会議で一生懸命成果を出したいと思ひてやってきたことなので、ぜひやらせてくださいといふことで部会をつくっていただき、部会長にならせていただきました。ただ、その後、結局、川崎市からマップをつくる業者さんにハザード情報を提供する日程がどうしても今年度中の作成には間に合わなかったといふことで、11月でしたか、もうちょっと前でしたか、ここでお話ししたときに、普通だったら3月の報告会があるときに、本物はできていないかもしれないけれども、ゲラ刷りみたいな形で見せられるんじゃないかといふお話を差し上げていたと思ひますけれども、実は今年度中は無理といふことが決まっていたらしく、それは本当に残念でした。ただ、来年度は間違いなくできるといふことがわかりましたので、ぜひこの区民会議の最後の

仕事として、これは実現させたいと思っております。

それで、部会の皆さんにお声がけさせていただいて、一口メモということで広告枠のあいたところに入れていくものを募ったんですが、実際には余り送られてこなかったのも、とりあえず私のほうでこの資料3をつくらせていただきました。送ってくださったのも中に少し入っております。本編のほうにはもちろん、「備える。かわさき」に出ている情報ですとか、揺れやすさですとか、地盤がどうか、そういうことはふんだんに入っておりますので、最新情報のすばらしい防災マップになることは間違いないかなと思っております。その構成については、こんな感じということはお聞きしていますので、大丈夫かなと思えます。

ただ、広告枠があいたところに入れていくものとして、先ほど内田委員から出ましたけれども、防災訓練だとどうしても避難所運営の話で町会さんとかが中心になって頑張るという感じになるんですけども、実はもう中原の人口を考えますと、避難所に皆さんが押し寄せたら避難所がパニックになってどうにもならなくなるのは目に見えていますので、建物が安全なときには自宅で避難をしていなければいけない。避難所自体も、例えば建物自体が耐震構造であっても、揺れの強さによっては非構造部材の天井とかが崩落して、本当は大丈夫なはずだった体育館が使えないということもあり得るかと思っておりますので、何とでも自分のうちで耐え忍ぶという訓練をまずやっていただきたいということで、在宅避難訓練を入れました。これをやってみると、電気、水道、ガスがない状態で自分のうちで暗いときにどうするかとか、ああ、大変だ、LEDランタンが要るとか、それも電池がいいのか手回しがいいのか。手回しも最終手段としてはいいと思うし、太陽光もいいようなんですけども、かんかん照りなところにずっと置いておいてやっとな夜に少し使えるぐらいなので、基本的には電池が使えるもので、電池の備蓄をいっぱい置いておくとか、張りつけておくとか、そういうのが必要だなということもわかりますし、スマホや携帯で地震警報みたいなのが鳴って、来るぞ、何をどうするんだろう、大丈夫なのかなときよろきよろ見ている、ああ、大丈夫そうだとか、このぐらいで済んだというのでは本当は遅いんですよね。警報が出てから本揺れが出るまでの何秒間でなければ逃げられない。本当にすごい地震が来たら動けないはずだし、どうしようもないわけなんです。だから、自分の自宅や勤務先のどこが安全かというセーフティゾーンを定めておいたほうがよいみたいなんです。それは、例えばお手洗いだったり、柱が多くて上から物が落ちてこないようなところでガラスや鏡が少ないところがいいらしいので、自分のおうちでどこかというものの1つには玄関もあるらしいんですけども、そこはどこかと決めておいて、そこはとりあえず安全なようにしておいて、スリッパでも履物でも何かかませしておいて、とにかく閉じ込められないようにするというのがとても大事みたいです。なので、本揺れがあったら逃げられない可能性があるんで逃げられるようにするのが大事とか、あとは寝室にスニーカーと厚手の靴下を置いておくとか、足をけがしないようにするというのが物すごく大事だと

思いますので、そういうことも入れていきたいと思います。

先ほどお話しされていたみたいに、やっぱり3日分ではとても足りないです。電気の復旧もかなりかかると思いますし、ガスなんていったら全然後ですね。ライフラインの復旧に物すごく時間がかかりますので、やっぱり7日をうたっていきたくて思っております。1人1日最低3リットルということで家族分を計算していただきたいということですか、今まで何回も出ていましたけれども、今回のマップの後ろに「無事です」カードをつくりたいねということで、一応、私のほうでもこの案を参考に出させていただきました。これは、町会さんでされる場合、助けに行く消防団であっても誰でもそうだと思うんですけども、そこは見なくても大丈夫だということがわかるので、これがあるとすごくいいと思います。

あとは、障害をお持ちの方とか、お薬の問題があったり、自分で弱いところがある方は、自分はどういうことが必要だよというのをSOSカードとかヘルプカードに書いておかないと、意識がもうろうとしていてそのときに伝えられなかったりということがあるので、SOSカードなりヘルプカードそのものを入れられる場所がなかったら、こういうものをつくっておいてくださいみたいなものを一口メモに入れ込むか、それは絶対どこかでしてほしいと思いました。

あと、冷蔵庫が結構無事に残るらしいんですね。冷蔵庫の中に、ぱかんと切れ目を入れたペットボトルの中に常備薬とSOSカードみたいなものを入れておいて、冷蔵庫の外に、ここの中に入っていますということを大きく書いておくと、助けに来たときにそこから救い出せることがあるということを行政の方からお聞きしました。この間消防局長にお会いしたときに、そういうのはどうなんですかと言ったら、麻生でやっているねと言われてまして、中原消防団長もいらっしゃったので、どうなんですかねと言ったら、そういうことがわかればすごくやりやすいとおっしゃったので、これはもちろん相談してからですけども、中原もそれがいいねということだったら1つの方法にもなるかなと思いますし、そういう話が行き渡っていれば、自分にとってSOSとは何だろうというのを考えるきっかけにもなるし、意識が変わる1つかなと思いますので、それも有効かなと思って、ここにヘルプカードとその内容についても記載させていただきました。

あと、メールの川崎防災情報を登録するとか、防災アプリ、 아이폰とアンドロイドではQRコードが違うみたいなんですけれども、こういうのを入れておくと自分のスマホに情報が入ってくる。情報がとても大事になってくるので、テレビはつかないかもしれないですが、ラジオは何かいくと思うのでラジオは大事だと思うし、あとは携帯、スマホも大事なので、こういうのも入れていきたいと思っております。

それから、何といっても互近助力です。向こう三軒両隣のきずなが命を救うというのはとにかくアピールしたいと思っております。自助、公助、共助とありますけれども、遠水は近火を救わずで、本当に御近所づき合いが大事で、こうやって顔の見える関係をつくって

いくことがお互いの命を救って行って、温かいまちになるんだよというのをどこかで入れていきたいと思います。

あと、運転しているときに大地震になったらとか、いろんなパターンがありますので、それも入れておきました。地下街で遭ったときにハンカチで口と鼻を覆うというのは、粉じんが入らないようにするにはいいらしいんですけども、大抵煙に巻かれて亡くなるのは一酸化炭素中毒らしいんですね。そうすると、ハンカチなどを探している場合じゃなく、例えば起きたときにそうなっていると、もうそこから動けないらしいので、ハンカチを探してというよりは、息苦しくなっちゃうから余計大変ということもあるらしいので、これは一律に書いていかどうかわからないですけども、普通だと粉じんから守るといふ点でマスクをしたり、ハンカチをしたりというのはやっぱりいいのかなと思います。

あと、自分の自宅から給水ポイントはどこかというのは探しておいてほしいと思うんですね。あと、排水溝は、ありとあらゆるところから水があふれ出ますので、そこが例えば枯れ葉などでふさがれないようにしておくとか、自宅の前の側溝のところですか、商店街さんのところもされているかもしれないですけども、そこを小まめに掃除していくというのは、まち全部が水浸しになるのを防ぐためには有効かなと思いました。あと、商店街が出ているところに、何々商店街はAEDを置いていますとか、そういう防災の取り組みをしていることもマップで紹介させていただければいいなと思っております。

スケジュール的には来年度になってしまいますけれども、ことしの12月ぐらいの完成を目指しているようですので、夏ぐらいまでは恐らく内容についてはやりとりができて、あと広告枠がどのぐらいあいてくるかということも秋にはわかってくると思いますので、順列を決めてさらにブラッシュアップをして、広告枠もどのぐらいの大きさなのか、見やすい大きさの文字を入れたいと思いますので、何行入るとかいうのも聞きながら、マップの委員会の皆様と情報を共有しながら6月以降も頑張って続けていきたいと思っております。

成田委員長 ただいま3つの部会からの報告を受けまして、それぞれの部会にかかわりました委員からの補足やその他御意見がありましたらぜひお願いしたいと思います。時間の関係で二、三名の方になってしまうと思いますが、どなたか御意見、御感想を積極的に発言していただける方はいらっしゃいますか。きょうが最後ですので、私のほうから御指名させていただきます。

それではまず、一番近いところで柳沢委員、お願いいたします。

柳沢委員 私は商店街に属しているんですが、今、萩原委員のほうから、商店街の中での防災の取り組みをコラムで紹介すると。これはすごくいいことだと思うんですね。ただ、商店街によって今はやっぱり温度差がありまして、積極的にやっているところと全く関心のないところがあります。それは何でかということ、今、戦後72年、ちょうど半分になると35年ぐらい前までは、商店街はオーナーの店が多かったんですね。それがバブルを

過ぎてから商店街が大分さま変わりしまして、オーナー店からチェーン店、大型店の出張店みたいなものが増えてきて、防災とか、防犯とか、そういう面への関心が大分薄くなってきたというのは事実です。ただ、私が属しているオズ通りでは防犯、防災に対して大分力を入れまして、町ぐるみで自治会と避難訓練をしたり、小学生を対象にした災害の体験をしたり、AEDの講習会をしたり、そういう取り組みを常日ごろしているんですけども、どうしてもオーナーが年々少なくなってきました、チェーン店の雇われ店長の方ですと、昼間は仕事についているんですが、夜中にはいないとか、そういうことで大分手薄になってきたのは事実です。

消防団なんかでもそうなんですが、私も消防団を20年ぐらいやっておりましたけれども、押本議員も消防団に入っておりますけれども、確かに今、地元の間が地域の災害のときに自分のまちは自分で守るという意識がすごく少なくなってきた、また、やる人も少なくなってきた、そういう点では本当に困った現象だなと思っております。そうはいつでも災害はいつ来るかわかりませんから、やっぱり常日ごろ結束を高めて取り組んでいかなければいけないと思っております。

成田委員長 では、もうお一方、どなたか御発言をされる方はいらっしゃいませんか。

それでは、鈴木晴美委員、お願いいたします。

鈴木（晴）委員 きょうも遅刻してしまって申しわけありませんでした。とりあえず何を話していいのかわからないんですが、今までのことをまとめた感じで大丈夫ですか。

成田委員長 感想でも結構です。

鈴木（晴）委員 先ほどお話ししてくださった防災マップ用一口メモ案、その辺から私は来させていただいたので、とても必要なことが網羅されているなと思いました。今、私は幼稚園に勤めているので、きょうも新しく巣立っていく子どもたちと過ごしてきたんですけども、そういう年齢の子どもたちを持つ御家庭というと、これとはまたちょっと違って来るんですね。そういう御家庭がこの辺にはとても多いので、そういう方向けにもどのようにこういう情報を発信していったらいいのかとか、この前、上丸子に、小さい子どもを持つママさんたちの防災の本を出されている団体の方がお見えになりましたけれども、アンテナを張っていないと、やっぱりそういう情報は入ってこないなとすごく感じているんですね。なので、そういうことももう少し盛り込んでいけたらいいんじゃないか。そういう御家庭が本当に多いということを考えると、必要なんじゃないかなととても思います。何かの形で……。

萩原委員 中原らしくなりますね。

鈴木（晴）委員 そうですね。だといいなと思います。こんなものがこんなふうに使えますとか、紙おむつみたいなものが女性にも使えますとか、ペット用のシーツがおトイレの中に使えますとか、そういうふだんでも使えるようなものがこんなふうに使えますというアイデアなんかも何かの形で伝えていけるといいなと。今まで防災にかかわらせていただ

いて、それはとても感じました。そんなところで申しわけないです。

成田委員長 それでは、もうお一方だけ。では、3つの部会にかかわっていただきました梅原委員、お願いいたします。

梅原委員 防災に関して、うちの近くに留守の家が結構あるんです。昼間はみんな勤めに出かけていなくなって留守の家がある。そういうところはやっぱり盲点になるんじゃないかと思うんですね。

私は北九州にまだ家を置いていまして、おやじとおふくろが住んでいたんですが、もう2人ともいなくて空き家なんです。工場を九州につくりましたから定期的に行っているんですけども、近所の人に迷惑をかけるような感じになるんですね。いつもいなくて申しわけない。お願いして庭木とかを全部切っていただいているんですけども、それでも手薄になって、その地区の例えば町内会長さんにも挨拶に行くんですけども、やっぱり留守のうちがあると皆さん非常に気にするというので、早く何とかしてくれということがありますし、今、住んでいるところにも空き家があるんですね。やっぱりそういうのが防災の穴になるのかなという感じがします。だから、そういう場合にどういうふうに手を打ったらいいのかというのは常々考えております。

成田委員長 それでは、時間の都合もありますので、御発言はここまでとさせていただきます。

(2) 区民会議「市民報告会」について

成田委員長 続きまして、2つ目の議題、区民会議「市民報告会」についてに入らせていただきます。それに先立ちまして、昨年11月9日とことしの2月6日に運営部会を開催いたしましたので、内容につきまして、運営部会の副会長であります橋本副委員長から報告をお願いいたします。

橋本副委員長 私から区民会議報告会につきまして報告させていただきます。

10月3日の区民会議におきまして、今期の報告会という視点で議論を進めてまいりまして、実施に向けましては正副委員長で内容を詰めていくということで決定をいただきました。実施方法につきましては、運営部会で諮っていきたいと考えまして、今、委員長からお話がありましたように、11月9日と2月6日の2回、運営部会を開催しまして、方向等につきまして協議をさせていただきました。今まで報告会については市民館のホールを使っていたわけですが、市民館のホールというのは関係のない方がわざわざ2階まで上がってきてくれない、なかなか立ち寄っていただけないということがありまして、外に多くの人を通るような開かれた場所で開催したらどうだろうかという案が出まして、そういった面でも検討させていただきました。イメージとしましては、区民会議の報告会を兼ねながら、取組検討・実践部会の親子サッカードリーム教室部会が昨年10月に実施しました体験型の防災プログラムを中心に、場所を変えて行ったらどうかというようにまとめ

たところでございます。

皆さんにお配りさせていただきました資料4、「区民会議『市民報告会』企画（案）」、A3判をお開きいただきたいと思います。こちらにまとめておりますが、タイトルとしましては、「区民会議成果祭～災害に強い、ユニバーサルなまちに！～」としております。

日時につきましては、今のところ考えたのが5月26日土曜日の11時から14時まで、場所につきましては、多くの人を通るであろうこすぎコアパークを考えております。

狙いとしては、先ほど申し上げましたように、多くの人に見ていただくということで、通行されている方が足をとめて防災体験や展示を見てもらえるような企画を開催する、人通りの多い場所で幅広い年齢層の区民に区民会議の成果をアピールしたいということでございます。

実施概要でございますが、今のところ、区民会議の成果をまとめた広報物の作成・配布という報告主体の部分、防災に関する体験ブースの開設、それから好評であったと言われている防災クイズラリーの開催も考えております。

それから、実施の方法ですが、コアパーク全体を潰すという形がとれませんので、いわゆる線路際といいますか、電車が通る側にブースとしてテントを張りまして、それぞれの催しを行っていただくというものでございます。ブースとしましては、区民会議の資料配布といったような形で報告会を主体としたものをテント1張りに入れる。それから、ロープ結びであるとか、非常食の体験であるとか、いろんなブースを設けて、約3時間の中で通行される皆さんに区民会議の内容のPRも兼ねて、また防災関係の成果等もこの場で報告していきたいと考えております。また、今後の運営等につきましては、部会等を設置する形になろうかと思いますが、ぜひ成功させていきたいと考えております。

私の報告は以上でございます。よろしくお願いたします。

成田委員長 今まで1期から5期までの区民会議の報告会は、中原市民館を利用しまして、来場者の方にその発表を見ていただくという形式でしたが、今回、会場に来場された方の来場者参加型という形にスタイルを変えようということに委員の意見が一致いたしました。といいますのも、やはりただ来ていただくだけで、受け身の形で見ていただくということでは、もともと来場者が非常に少ないところに持ってきて、意外に報告自体よりも、それに付随したイベントのほうを主体で帰られてしまうという反省点が非常に多かったということで、第6期に関しましては、取り組み実践をそのまま報告のイメージそのものに当てはめようということで、今回は不特定多数の方の目にとまるという意味合いもありまして、こすぎコアパークをぜひ活用して、報告会という形の実践的なイベントという目的でやってはどうかということで運営部会のほうでまとめさせていただきました。

日時ですが、当初幾つか日程の案がありましたが、5月というのは、実は小中学校での運動会、体育祭等の時期と重なってしまっていて、土日の確保が非常に難しいということと、コアパークさんとの関係で5月26日しか日程がとれないということで、今のところ実施す

るとすればこの日になるということになっております。今まで、ざっくり大体の概要を説明させていただきましたが、今の御報告につきまして皆様の御意見等をこれから伺いたいと思います。

その前に、井上副委員長から補足があればお願いいたします。

井上副委員長 大丈夫です。

成田委員長 それでは、皆様方の今回の報告会につきまして御意見を伺いたいと思いますが、不明な点も含めてどなたかいらっしゃいますか。

関口委員、いかがでしょうか。

関口委員 私は、これ自体は賛成なんですけど、先ほど萩原委員から出たものを防災マップに載せるだけでは非常にもったいないので、ぜひこのときにチラシをつくるなり、チラシだけだとさらにもったいないので、萩原委員に10分ぐらいでもいいんですけども、実際にPRをしていただいたらいいんじゃないかと言おうかなと思ったときに指されたので、これだけはぜひやってほしいという意見です。

成田委員長 ほかにいらっしゃいますか。

伊藤委員、いかがでしょうか。

伊藤委員 今の意見に賛成なんですけれども、冷蔵庫に自分の薬のこととか、いろんなことを入れるというのはとてもいいみたいなんです。この前、市のほうで、ここの会場だと思えますけれども、防犯の話があったときにこの話が出たということで、防犯部の人これがいいよねといって、お年寄りの家庭に教えて配って、民生委員を通してひとり暮らしの家には全部配付いたしました。民生委員さんたちが自分の家で飲み終わったペットボトルを持ち寄って、そここのところを書くのも大変でしょうからといって民生委員さんたちがちょっとお手伝いしたみたいなんです。私は、カッターで穴をあけたペットボトルとか、用紙とかは見ているんですけども、それでひとり暮らしの人たちには全部配付しましたということが出ていました。だから、そんなのをPRしたらいかがかなと思います。

萩原委員 そうですね。おもしろいかもしれない。現物……。

成田委員長 現物をPRですね。

萩原委員 それとSOSカードもつくって配っちゃうとか。

伊藤委員 そんなのはとてもいいかなと思いました。

あと、マップのほうで私はお願いしておいて、ちょっと書き忘れたかもしれないんですけども、町会にいと、避難所がわからない人が非常に多いんですよ。避難所に避難してなくても結構ですけども、役所からの情報は避難所に一番来るんですから、やっぱり避難所を知っていないといけないと思いますので、自分の範囲はこの小学校だとマップで色分けでもしておいて、うちでしたら井田小学校、こっこの範囲の人は井田中学校ですよとわかるような防災マップがあったらいいなと思います。

柳沢委員 今、伊藤委員が言ったように、うちのほうでも避難訓練をやったときに、自分

の住んでいるところの避難所がわからないというのが随分いましたよね。

伊藤委員 それは非常に多いんです。

柳沢委員 確かに多いです。

伊藤委員 全然違う話になるんですが、選挙でも、うちのほうは井田小学校と井田中学校が投票所なんですけれども、井田という名前だけで井田中学校の人が井田小学校に投票用紙を持ってくることが時々あるんです。自分の住んでいるまちがどこにどう属しているかということを知らない人が多いというのは、皆さん知っておいていただきたいと思いません。意外に初歩から教えないとだめということがあると思います。

以上です。

成田委員長 マップの補足もかなり御発言いただきましたが、皆様、こちらの報告会につきましては、おおむねこういう企画案を進めるということでもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 ありがとうございます。それでは、この案に従いまして進めさせていただきたいと思いません。

それでは、実施に向けまして、実際に実施体制、それから当日の役割分担などをどうしていくかということを検討していかなければならないのですが、まずこちらの報告会につきましては、基本的に当日は委員の皆様方は全員参加ということでお願いしたいと思いません。その中で、資料4をいま一度見ていただきたいと思いません。これはブース案としまして、前回の運営部会でこれだけのブースを設けたらどうかという提案になっています。用意できるテントが最大10張りとなっておりますので、そのうちの1つは本部、もう1つは、着ぐるみを出すこととなりますと、着ぐるみの待機場所や着がえ場所が必要になってきますので、その部分で2張りとられてしまいますので、実質的に7ブースということで、前回、フロンターレ親子サッカードリーム教室で行いました企画とほぼ似たような形でこちらに提案させていただきました。これにつきまして、皆様方から御意見等はありませんでしょうか。

中森委員 このブース案の中に多言語コミュニケーションが入っているんですけども、国際交流協会の皆さんと話をしたら、たまたまその日に国際交流協会の行事と重なってしまい、私たちが参加することができなくなりました。本当に申しわけなかったです。

以上です。

成田委員長 今回そういう話を聞きまして、ブースの中身としまして、やはりユニバーサルなまちづくりという視点から考えますと、多言語コミュニケーションを初めとした外国籍の方、また外国から転入してきた方への震災のアピールという部分も視野に入れたいと思いませんので、その辺も含めて、またこれは立ち上がりました実行委員会のほうで検討しなければならない事項ではあります。

それで、ここに出ていますブースのほかに、こんなのはどうかという案をお持ちの方は

いらっしゃいますか。

内田委員 6番で震災パネル展示というのが記載されているんですけども、被災地から借用ということで大変な力が要るのかなという気がいたします。その中で、我が川崎市の中に「川崎市に大地震が起きた日」という冊子があって、例えば地震でも災害でも、発生直後、1日、1週間後、何カ月後とってイラストで描かれているんですね。ということは、そう難しくなく取り入れてくれるのかなと思うわけです。ですから、1つは拡大しパネルにさせていただいたのを展示しながら、そして来た方にこの冊子を渡してはすぐなくなってしまうかと思うので、これをチラシにしたものを渡す。もしその場で体験した場合には、こういうことを注意されたいかがですかという啓蒙をするのも1つかなと。4番はなくて、2、3、5番は体験型につながるかと思うんですが、1つ広報としては、既にあるものを拡大することとてもいいのかなという感じがいたしますので、検討願えればと思います。

成田委員長 ぜひそれも入れさせていただきたいと思います。ほかにいらっしゃいますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 それでは、ブース案としまして、ここに挙げられておりますブース、多言語コミュニケーションにつきましては要検討ではありますが、おおむね……。

井上副委員長 この一口メモというのはまだ募集しているんですか。

萩原委員 ぜひぜひ。

井上副委員長 そうしたら、このときにやったらいいんじゃないですか。

萩原委員 それもありかもしれません。

成田委員長 今、井上副委員長から一口メモが出ましたが、よろしいでしょうか。

それでは、改めまして、こちらに出ておりますブース案で進めるということで皆さんよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 それでは、早速この準備が必要になってくるとは思います。参考資料1をごらんいただきたいと。この後、本会議が終わりまして、時期的には4月半ば過ぎか、あるいは5月初めになるか、今のところ日程は未定ですが、ここに市民報告会に向けた部会と書いてありますが、これが実質的にいわゆる実行委員会という形になります。当然これは1回だけでは終わらないと思いますので、そのブースごとに個別に集まっていたくこともあるかもしれませんし、臨時の部会もあるかと思いますが、おおむね決まっておりますのは、この時期に報告会に向けた部会を行う予定であります。

それで、早速ですが、それぞれのブースのリーダーという意味合いもありますが、実行委員をこの中から決めていただければと思います。まず、私たち正副委員長は、そのまま実行委員に入ります。それから、こちらからぜひお願いしたいのが、2番のロープ結び体

験は、親子サッカーのときにボーイスカウトさんの協力を仰いでおりますので、こちらに関しまして、ぜひ梅原委員に御協力をお願いしたいと思うんですが、よろしいでしょうか。

梅原委員 はい。

成田委員長 ありがとうございます。

それから、非常食体験ということで、きょうは欠席されておりますが、食生活改善推進員連絡協議会さんに前回もお願いしております関係上、山崎委員にこちらをお願いしたいと思っております。

それから、マップづくり関連もありますので、萩原委員もお願いいたします。

そのほか我こそはと思う方がいらっしゃれば。今のところ特に定員は設けておりませんので、ぜひ入っていただける委員がいらっしゃいましたら、この場で挙手いただくと非常にありがたいのですが、いかがでしょうか。

田邊委員、いかがですか。お忙しいかとは思いますが。

田邊委員 はい。結構です。

成田委員長 よろしく願いいたします。

内田委員はいかがでしょうか。

萩原委員 内田委員、マップやりましょう。

内田委員 そうですね。1つのブースをお手伝いさせていただきます。

成田委員長 よろしく願いいたします。もうお一方ぐらい。伊藤委員、いかがですか。

伊藤委員 私、ちょっとその日、半分ぐらいは手伝えるんですけども。

成田委員長 では、当日ぜひ……。

伊藤委員 半分ぐらいでよろしゅうございますか。ごめんなさい。ちょっと入っているのです。午前中おくれますけれども、よろしいですか。

成田委員長 それはもう全然。

関口委員はいかがですか。

関口委員 いいですよ。

成田委員長 お願いいたします。全員参加でも全然構わないんですけども。ほかはいかがですか。

井上副委員長 クイズラリーはやってもらったほうがいいんじゃないですか。

梶川委員 すみません、私は今まで全部出てきたんですけども、ここの日がどうしても都合が悪くて欠席になっちゃうので、申しわけありません。

成田委員長 小野山委員、今、井上副委員長からクイズラリーの達人ではないかというお話がありました……。

井上副委員長 そんなことは言っていないですよ。

小野山委員 はい。あと、ロジーにもし人手がいなかったら入ります。

成田委員長 それはぜひよろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。では、お名前を橋本副委員長に控えていただきましたので、確認させていただきます。田邊委員、内田委員、関口委員、小野山委員、伊藤委員、きょう欠席ですが山崎委員、梅原委員、萩原委員、お願ひいたします。そのほかの皆様方で、こういう提案はどうかという話がありましたら、実行委員会になりました委員のほうまでぜひ持ってきていただきたいのと、また事務局にも御提出いただければと思います。当日ですが、できるだけ多くの方に参加していただきたいと思いますので、御自分の所属されている団体さんの中でイベントに協力していただける方がいらっしゃるようでしたら、ぜひ一緒に当日お手伝いを願えればと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、2番目につきましては、これで終わりにしたいと思います。

(3) 区民会議報告書について

成田委員長 続きます、次の議題としまして、3番目の区民会議報告書についてに入らせていただきます。これについては、事務局から説明をお願ひいたします。

事務局 それでは、私のほうから御説明をさせていただきます。資料5をごらんいただきながらお話を聞いていただければと思います。あと、今回、去年の年度末、3月に出した中間報告書をお配りしております。それとかなりかぶる部分もあると思いますので、参考にお配りをさせていただきました。

それでは、資料5ですが、今年度末に出す報告書になります。まず考え方ですけれども、今年度1年間の報告だけではなくて、第6期の過去2年間の活動報告書ということで今作業を進めております。あと、皆さんの任期は6月までなんです、行政年度の3月末までの内容となるかと思ひます。

それでは、内容になりますが、資料5の構成案に基づきまして、表紙、あいさつ、目次等は中間報告書と同じような形で、多少デザインを変えて、防災が伝わるような、またキャラクター等も使いながら作成をしたいと思ひます。それから、中間報告書でも目次の次に見開きがありまして、全体の流れがわかるようになっておりました。こちらもこのまま同じような形でやりたいと思っておりますが、中間報告書の見開きをベースに、一番右に今年度は実際に取り組んだということで親子サッカー教室と総合防災訓練、総合防災マップへの働きかけ、コラム検討等がありましたので、それがわかるような図にしたいと思っております。

全体は36ページなんです、そこから先は章ごとに説明したいと思ひます。まず第1章では、主に今年度の活動報告を考えております。最初に去年度の中間報告書と重なる部分もあるんですが、「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということで、審議テーマへの思い、ねらいですとか、特に2年目はこれまでと違ってテーマを継続して取組検討・実践部会ということで進めてきましたということの説明します。それから、大きく3つの

親子サッカードリーム教室、中原区総合防災訓練、中原区総合防災マップということで、それぞれ2ページから3ページを使って、今年度はこういう活動をしてきました、こういった部会メンバーですということが第1章です。

それから、第2章、第3章は2年間の報告書ということで、中間報告書からかなり抜かさせていただくところが多いのかなと思っております。まず、第2章については、審議テーマがこういう経過で決まりましたよというところでは、これは中間報告書の記載をさらにコンパクトにする形になるかと思えます。

それから、第3章で今年度やった取り組みのベースになっていた提案ですが、こちらも中間報告書では、各取り組みの内容と参考にした事例等を左右の関係で見開きで載せていたんですが、これを提案の内容を中心に、少しコンパクトにします。25ページまでが第3章になります。

次に、第4章、1ページ程度かなと思えますが、今後の展望ということで、きょうの会議でも最初にありましたけれども、区民会議の休止のことですとか、この報告書発行時点ではまだ報告会開催前になってしまいますけれども、報告会でこういう企画を実施予定ですという記述ができればと考えております。

それから、最後、第5章の資料編ですけれども、区民会議の制度の簡単な仕組みの紹介ですとか、皆さんの名簿等は中間報告書と一緒にするかなと思えます。それから、会議の開催記録は、中間報告書、1年目の会議開催結果に加えて今年度の実施結果等を踏まえるということです。あと、区民会議だより等についても、今年度の分をあわせて編さんしたいと思っております。

簡単ですが、以上のような内容で3月末時点での発行ということで作成を進めていきたいと思えます。

以上が説明になります。

成田委員長 ただいまの報告につきまして、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

萩原委員 この報告書は何部ぐらいつくる予定でしたか。どこを対象にしてとか。

事務局 報告書自体は100部の印刷予定です。

事務局 ダイジェスト版をつくれます。

事務局 ダイジェスト版が8000ちょっとだったか、すみません、詳しい数字までは覚えていませんけれども……。

萩原委員 それは何ページ立てぐらいの。

事務局 自治会の回覧に回る……。

事務局 そうですね。ダイジェスト版はA3を半分に折った大きさで、内容としては、ちょっと今どんなものに……。

伊藤委員 この大きさということ？

事務局 そうです。それと同じ大きさです。

事務局 大体8ページくらいのもので、報告書の概略の部分で8000部つくる予定であります。

萩原委員 100部だけというとな本当に内輪の話になるので、ここまで資料とかは要るのかなど。かえって一般の人にアピールできるようなことに絞り込んで、枚数が多いほうがいいんじゃないのかなと思ったものですから。もし内部資料であれば、別にそんなに頑張らなくても、そんなに立派にする必要もないんじゃないのかなと思いました。ちょっと資料のところは、ただ議題がこうでしたよみたいなものを延々とやっても一般の人には何の意味もないし、内部資料だったら普通の紙で、冊子にする必要もないのかなという気がしなくはなかったなので、すみません。

事務局 そちらはちょっと検討していきたいと思います。ダイジェスト版については、幅広く配れるような形で対応したいと思っております。場合によっては、5月26日の報告会の際にも配れるスタンスがあればいいかなと思っております。

成田委員長 よろしいでしょうか。ほかにどなたかいらっしゃいますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(4) その他

成田委員長 では、ないようですので、続きまして、4番のその他に入らせていただきます。

先月、2月2日になりますが、エポックなかはらにおきまして、希望する7区の区民会議委員を対象にしました区民会議意見報告会が開催されました。中原区でも8名の委員に御参加いただきましたが、参加された方の中で当日の感想など、御発言をぜひお願いしたいと思います。ちなみに、当日参加されました委員の皆様は、伊藤初美委員、梅原英毅委員、梶川明美委員、関口清委員、中森ジュリアみどり委員、萩原ひとみ委員、橋本満昭委員、以上の8名の方になります。この8名の方の中からどなたか感想をいただければと思いますが、トップバッターでどなたかおっしゃっていただける方はいらっしゃいますか。

梅原委員 ちょっと覚えていないですね……。

成田委員長 梅原委員は覚えていないという御発言でしたので、思い出すまでお待ちしております。

それでは、梶川委員、お願いいたします。

梶川委員 各区の方たちと行政の方が一緒になって会議をグループワークでやりましたけれども、他区の活動とかを知れたので、それはとてもよかったと思いますが、ああいうのは時間がいつもないんですよね。いろいろ意見を出してやったんですけども、他区の方たちと違った活動をしているということがわかりまして、大変よかったと思います。

それと、今のとは関係ないんですけども、先ほどの5月26日のチラシができましたら

文化協会の方たちにも配りたいと思いますので、私のほうにもよろしくお願いします。

以上です。

成田委員長 それではもうお一方、関口委員、お願いいたします。

関口委員 去年も行ったんですけれども、去年は大学の先生の講演会みたいなものがあった、実際に意見交換するのに時間が少なかったんです。ことしは、そういう意味では2時間あったんですけれども、やはりいろいろ始まると時間が足りない。せっかくああいうのをやるんだったらもっとやってほしかったなというのが率直な感想です。

成田委員長 全員の皆様にお聞きしたいんですが、時間がちょっと迫っておりますので、申しわけありません、報告会につきましては、後ほど添付されている資料を御確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議題につきましては以上でございます。

4 その他

成田委員長 続きまして、4番のその他として委員の皆様から何かありますでしょうか。

柳沢委員 ちょっと行政の方に聞きたいんですけれども、以前、町内会に、今そこにある箱ぐらいの大きさで台車がついている消火器がところどころにあったんですけれども、最近ではそういうのは置いていないんですか。ちょっと余り見受けられなくなってきたもので。

事務局 最近ですと消火栓につないでやるという消火ホースキットをなるべくいろんな町会の方に持っていただきたいということで、消防についてもその普及を進めておりまして、どこまでの普及率かというところはこちらでも存じ上げないんですけれども、そういった場合については、こちらで購入部分の補助をさせていただいておりますので、積極的にどんどん広げていきたいなと考えております。

柳沢委員 ということは、今は置いていないということですか。

副区長 行政自体に置いているかどうかという質問です。

事務局 すみません、私の記憶の限りでは、それを今置いているというのはなくて……。

柳沢委員 このところちょっと見なくなって、あれっと思って、余り気にとめて見てはいなかったんですけれども、以前は結構場所場所に、路地に置いてあったりしたもので。

副区長 たしか私も子どものころ、よく町内会の至るところに消火器の赤い箱があって、ちょっと大き目のなんですけれども、配置されているのは記憶があるんですけれども、最近なくなりましたよね。ですから、行政のほうでそれをところどころに設置するというのではなくて、多分町内会・自治会単位で……。

柳沢委員 あれは町内会が自主的に置いていたんですか。

副区長 そうです。その消火器などを購入される場合には補助を差し上げるということなんですけれども、最近、先ほど課長からありましたけれども、ホースキットといいまし

て、消火栓からじかにつないで初期消火ができる。これは補助があって、あれは1台幾らぐらいでしたか。

事務局 20万円とか、安いやつだと10何万円ぐらいであるんですけども、町会の規模にもよるんですけども、約半額を上限に。

副区長 今、消防署のほうもそれを普及させているというお話は聞いています。

柳沢委員 内田委員のところでもやっていますか。

内田委員 今、副区長の言われた、もうちょっと若いときには確かに街角にあったような気がするんですけども、消火器の中身も5年、10年で取りかえなきゃいけない問題が起きてきているので、多分それを契機にやめたんだろうと察します。

私も地域に入って、私のほうの街角にあるかというのと、もう見かけなくなったというよりは、ないと思います。ですから、あとは今各町会でやっている事業としては、5年に1遍購入しませんかというのと、今中身を取りかえるというのが余り行われていない。私どももつい半年前にやったんですけども、中身の交換はほとんどなく、全取っかえというのが多いので、ということは、多分街角にはもうない。今こちらのお話のあった簡易型というのは圧力が——本当の消防のホースというのは、ふだん持っていない私たちは振り回されて筒先を持てないですよ。そうですよね。

押本参与 はい、そのとおりです。

内田委員 それが半分ぐらいの筒なので、子どもでも持てるというのは、この間の大戸の防災訓練のときでしたか、子どもが筒先を持ってられるんです。それを言葉的には購入してくださいと言われるんですが……。お金のかわることで失礼いたしました。

以上です。

柳沢委員 わかりました。すみません。

成田委員長 ほかにはいらっしゃいますか。

内田委員 今、皆様のお手元に、私どもは「無事です」シールとっておりますが、お配りしております。この区民会議に参加させていただいて、何度も広報されている中で、やはり我が町会の中でもこれがあつたら万が一のときにいいなと。それと、先ほども解説していただきましたけれども、自分のところは元気だよというのは張っていただいて、出ていないところを優先的には思っております。細かいことを言うと、町会に入っていない人はどうするのということなんですが、我が1丁目町会では全戸に配布完了しました。そして、その理由も回覧の中でお話しさせていただきました。本当に今後あつてはいけなんでしょうけれども、やっぱりさっきの互近助、要するに、公助、共助、自助、それに互助というところの話が出ていましたけれども、それに近隣の方々の見守りネットワークが必要ではないかという中で、その互助の中で近隣の近を絡め合わせて互近助ということで、これは災害も当然ながら、福祉のほうでも見守りネットワークをできればいいなと、私どもの町会では即実行に移させていただきました。ぜひ皆様方のまちの中でも、本当に一歩

ずつですけれども、自分たちは自分たちの手で守っていこうではありませんかということ
を提案させていただきながら皆様に配らせていただきました。よろしく願いいたします。

成田委員長 貴重な意見をありがとうございました。非常にインパクトが強いカードなので、本当にどなたでも見やすいです。すばらしいと思います。

ほかによろしいでしょうか。

萩原委員 5月のコアパークの告知のチラシみたいなものは予定されていますか。例えば
事業所とか一般の人に広く呼びかけるのに、ただ口で言ってもあれなので、チラシみたい
なものがあったら渡せたり、どこかに張っておけたりすると思うんですけれども、予定が
あるかどうか。

事務局 5月26日に向けた広報のチラシはつくる予定です。それと、区民会議だよりをも
う1回発行することになっておりまして、そこの片面を告知の形で載せて広報していきたい
と思っております。区民会議だよりについては、町内会・自治会の回覧にもお願いして
いるところです。あと、市政だよりの5月1日号には掲載できるような形で段取りを進め
ていきたいと思っております。

以上です。

成田委員長 よろしいでしょうか。

事務局のほうからは何かありますでしょうか。

事務局 参考資料1のスケジュールにつきまして御説明いたします。といっても、もう残
りわずかなんですけれども、今回の本会議を踏まえまして、先ほどお話がございました報
告会に向けた実行委員会ということで何回か詰めさせていただきまして、その前に、4月
の段階で報告書の区長報告という形で対応を考えております。それと、先ほども話がござ
いました5月26日の土曜日の市民報告会をスケジュールとして入れております。

以上でございます。

成田委員長 ただいまの説明に御質問等がありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 よろしいですか。それでは、本日予定しておりました議事はこれで全て終了
いたしました。冒頭で予告させていただきましたとおり、きょうは第6期の区民会議と
しては最後の本会議となります。あわせて、中原区民会議もこれで一旦休会となります。
任期がまだ6月いっぱいまで残っておりますが、本会議としてはこれが最後になりますの
で、ぜひ皆様方から2年間の委員の活動を振り返って御感想、御意見をいただければ
と思います。

トップバッターで大変申しわけないんですが、伊藤委員から順番にお願いいたします。

伊藤委員 2年間ありがとうございました。くどいようですけれども、避難所というの
は、一応は市とか上から順番に連絡が来る場所でございますので、その運営というものは

しっかりしたいなと思いました。

もう1つ、この区民会議でHUGをやっていたらよかったなというのが反省点です。あと、皆様と知り合えたこととか、1つのテーマのことで話し合えたことがとてもよかったと思っています。

岩崎委員 2年弱でしたけれども、どうもありがとうございました。区民会議は地域の問題をきちんと吸い上げるというとてもいい取り組みだと思えるんですけども、どうしても私個人の都合で言うと、業務等で結構出席できなかった会があったことは大変申しわけないと思っています。

あと、私は中原地区連合という労働組合の地域の団体として参加をさせていただいておりましたけれども、本当にこの会議の中ではいろんなお立場の方がいて、それぞれに中原の地域のことを考えられている、きょうの会議の中でもいろいろなお立場の発言があって、そういうことを実感したということで、いろんな意見があるんだということを知って、物の見方をいろいろ考えさせられるきっかけになったということでは非常に参考になったなと思っています。

また、中原は人も多くなっているということで課題もいろいろあるとは思いますが、その分、未来もポテンシャルが非常に高い地域なんだろうなと思っていますので、今後も私どもの立場としてもいろいろ活動をしていきますので、その際には皆様の御理解と御協力をいただければと思っています。

以上でございます。

内田委員 2年間どうも大変お世話になりました。災害に強いというテーマの中で災害に対していろいろな多くの情報を持っている中で、ここにいらっしゃる方々も同じというようなことを考えていたんですが、やはりこれは原点に戻りながら、災害あるいは防災に関して皆様と私が今置かれている立場とすれば開設側になってしまっていて、防災訓練等々を開設している側からすると、まだまだ多くの方が意識を持たれていなくて、参加もしていなくて、その人たちに対しての呼びかけもしなくてはならないなと感じるところです。

そして、開設にしても、ここ一、二年で皆様方の意識が変わってきた。避難所に行けば何とか助かるんだよというのが、避難所へ行っても劣悪な環境なんだよというのがいよいよ浸透してきているかな。先ほども在宅避難という言葉が出ておりますが、これもまた私がいろいろな会議に出ている偏った知識なのかなとも思っているところで、それを広く皆様に広報ができればいいなというふうに感じて、今後、中原区で行われます防災訓練に1つでもお手伝いができればいいなと思っています。

そして、本当に大きな力になったのは、皆様のお手元にあります「無事です」シールをつくる力をくれたこと。この区民会議に出ていなければ、この「無事です」というのにめぐり会わなかったかなと思うと、とてもこの会議には感謝しております。今後とも、皆様方が地域に戻られて、これを活用されることを望みます。ありがとうございました。

梅原委員 中原区というところは、よその地区から見ると爆発している地区になるんですね。ほかの人といろいろ話をする機会があるんですけども、中原区の区民会議に出ているということになりますと、例えば人口は1万人ずつ毎年ふえているとかは全国で珍しいですね。それからタワーマンションがどんどんできています。どうなっているんだろう。そのときにユニバーサルなまちづくりというテーマが出てくる。一体どんなことをやるんでしょうかということをよく聞かれるんですよ。

私は北九州市の出身なんですけれども、例えば30年ぐらい前の北九州市の人口というのは104万人、川崎市は106万人だったんですね。ところが、30年たったら川崎市は150万人、北九州市は95万人で落ちています。どこが違うんだろうかとよく言われるんですけども、その辺は別にしておいて、そういうところで災害の問題とか、いろんなことを市民の立場で見てつくっていくということは非常に興味がありまして、いろいろな方ともお知り合いになりました。ありがとうございました。

小野山委員 私は総合子どもネットワークから出て参加させていただいたんですけども、本業は助産師をしております、さまざまところで保護者の方とかかわることがあります。私は、お子さん、保護者のエリアにかかわることが多いんですけども、防災のこと1つとっても、アンテナを張っている方でさえ防災訓練のことを知らないということはどういうことかなと思ってしまって、でも、今回サッカードリーム教室の広報と抱き合わせてすごく参加者があつた。また、報告会もそうですけれども、コアパークを使ってというのはすごい広報の仕方だなと思って、ここまで来たら、せっかくいいものをするのであれば、効果的な広報の仕方をこの先しっかりと見据えていかなきゃいけないのかなと考えました。

あと、先ほどもおっしゃったんですけども、HUGのことです。私は中学校の子どもがいるんですけども、中学生が一番力が出せるころとか、何かがあつたときに力になる年齢かな。高校生になるとあちこちいろんなところに行っちゃうんですけども、中学生は地域にいっぱいいます。ゲームの中でしっかりと知識をつけていくというのは、いつ何があるか、もう今あつてもおかしくない状況です。その中でいち早くHUGゲームがあつてHUGができるような体制をつくっていただきたいとか、私も地域と防災の催しの中で何ができるかというのでHUGと言ったんですけども、どこに言っていけばいいんですかと言われて、はて、区役所でしょうかみたいな状況であつたので、できれば早目にそういう体制を整えていただきたいです。

あと、うちの団体の中でですけども、防災のこと、いろんなことを、ここに出る上で話を聞いていたんですけども、それぞれの団体が防災についていろんなことをされていましたが、そのことを知らないです。そのことが大きくなっていくと、それぞれの団体がやっていること自体を余り知らないということで、ここに出てこられていろんな団体さんにかかわることでいろんな情報を得られたんですけども、それをいろんな方に知ってい

ただくために何かをしていかないと、コーディネーターじゃないですけども、そういう情報をちゃんとわかるとこがあればいいなど。ここだけでおさめておくのはもったいないと思いました。皆様とお知り合いになれてとてもうれしかったです。ありがとうございます。

梶川委員 私は2期やらせていただきまして、本当に皆様といろいろな交流が持てたことはありがたいと思っています。私は文化協会から出ていましたので、地域の防災とかには直接かかわりはなかったんですけども、文化協会でも年3回発行しています新聞とか、それから理事会で発言する時間がありましたので、常にこういうことをやるとか、やったとか、そういうことを詳しく報告させていただいたので、微力ながら広報活動ができたんじゃないかなと思っています。本当にありがとうございました。

鈴木（晴）委員 2年間お世話になりました。経験や知識の豊富な皆様のいろんなお話し合いを伺って、その話についていくのに割といっぱいだった自分があります。でも、とても勉強になりました。防災についてはPTAでも各学校で取り組んでおりますけれども、それが地域でつながるとなると町内会がいろいろ絡んでいたりとか、意思の疎通が難しいという話がよく出ます。

私ごとなんですが、息子が中学を卒業しますので、中原区のPTAは卒業ということになるんですけども、今度高校に行くんですね。そのときに今度は通学経路がああだとか、こうだとか、御近所で同じ学年を持つ方とも、うちの息子は今度はこの電車に乗っていくんだとか、バスに乗っていくんだと。そういうときに、親子で災害のときにどうしようという話になったというのをほかのお母さんから聞いたんですね。うちも息子と、このときに例えば電車がとまったらどうするとか、そういう小さいところからまずは続けていくことが大事だなと、この2年間ですごく実感しました。アンケートをとって終わり、それを報告して終わりじゃなくて、理想の姿があったら、そこに向かって今自分が何をしたらいいかということをしていくことが本当に大事だと思っていますので、今後も自分なりに周りの人を巻き込みながら続けていこうと思っています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

田邊委員 こんにちは。私は初めて区民会議に参加させていただきました。2期、3期やられている方の造詣が深い意見を述べられるのをお聞きすると、体は大きいんですが、だんだん心が小さくなっていく自分をずっと感じてはいたんですが、ユニバーサルなまちづくりというテーマが決められてからは、それに沿って少しは私の意見も言えるのかななんて思いながら、毎回一生懸命参加させていただきました。市民報告会がこれでできるということで、ぜひ皆さんで元気に楽しい報告会にできるように私も頑張っていきますので、よろしく願いいたします。お世話になりました。

関口委員 正直、委員になったときに、どうせ言いつ放しで終わるから余り期待しないほうがいいよと実は言われたんです。ただ、実際に会議に出てみると、皆さん非常に熱心に

言われていて、ただ、それも正直また同じような形になるのかなと思ったのが1年目です。それで、昨年は、私はチェックをなぜしないのという意見を言ったと思うんですけども、やっぱりそういう姿勢が皆さんいっぱいあって、ことしは実践部会というのできて、実際にやれたというのは非常によかったなど。そういう意味で、5月26日はしっかり有終の美を飾りたいと思っています。

中森委員 この2年間、いろいろありがとうございました。私自身は区民会議は6年目で、長い間委員として活動して、初めて1つのテーマを2年間続けてやったのはすごくよかったと思っています。これだけ防災というのは皆さんにとってとても大事なテーマだと感じて、全員で取り組んだというのはすごくありがたく思っています。今回、いろんな立場の方たちとこういう会議に参加して、考え方もいろいろあって、それでも1つのテーマにみんなが一緒に取り組むというのはすごく貴重な時間だったなと感じました。これからもできるだけこういう会議でやったことをもっとアピールできるように働きかけたいと思っています。

1つお願いがあるんですけども、こういう「無事です」カードとかをつくるときに、できれば振り仮名もつけてもらえるととてもありがたいです。多言語でつくってとまでは言わないんですけども、それはとても大変だと思うんですが、できれば振り仮名だけでも、それかちょっと易しい日本語にしてもらおうと、せっかく日本に来ている外国籍の方たちもこれを理解して意味がわかると皆さんも混乱しないと思いますので、ぜひそれも検討してください。ありがとうございました。

伊藤委員 振り仮名は片仮名ですか、それとも平仮名ですか。

中森委員 平仮名で大丈夫です。ありがとうございます。

萩原委員 とてもお世話になりました。2期させていただいて、1期のときにはきれいなまちづくりということで、日本一きれいなまちにということを言いたいね、日本一というのはちょっとやめましょうみたいに言われて、あのときも中原区内のいろんな団体さん、企業さん、銀行さんとかにみんな声をかけて一斉に清掃ができたのは本当にいいことができたなと思ったし、みんなと一緒にやるというのは結構楽しいというか、それがまたNPOさんでやっていらっしゃる土曜日の一斉清掃に合わせたということでNPOさんの活動も継続して、また1回そうやって表に出てということですからすごくよかったんじゃないかなと思っていますし、いろんな団体がこつこつやっていることがアンケートでわかりましたので、あれも貴重なデータだったかなと思います。

ぜひ今回の防災のことも、各団体さん、町会さん、商店街さんとかは一生懸命取り組まれているので、こういうきずながやっぱり続いていってほしいなと思うので、区民会議が一、二年後にどうなるかわからないんですけども、ぜひここでつくったきずながこの後続くといいなと思っています。みんな、いろいろ勉強になったと思うし、自分自身も成長できたかなと思うので、私もマップができ上がるまでは頑張りたいと思っています。

し、6月までが任期だったら、5月の報告会が終わった時点でみんなで集まってお茶会でもしたいななんていうことはみんなで話したりしています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

森委員 私は中婦連の会長をやっております、そのときに区長選出ということで呼び出されたんですね。全然わからないところに来て、本当に場違いだと思ったんですよ。ユニバーサルなまちづくりというのはどういうふうになるんだろうという思いで出席させていただきました、大変勉強になりました。私は私なりに自分の聞いたことを町会に持って帰ってお話しするだけでもいいのかなという感じで1年間お世話になりました。ありがとうございます。

柳沢委員 私は商店街から来たんですけれども、何かもう言い尽くされちゃったような感じで、本当に防災はもちろん、安全安心まちづくり、地域の自治会と一緒に商店街も一体となってこれからも活動していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

最後に一言、商店街から宣伝させてください。実は、きょう発売の中原区を半額にするというプレミアムパスポートが出ております。これは書店でお買い求めいただくと980円で大変お得になっている本なんですけど、この本を持っていくと各お店の得意な料理を1品だけ半額にするというやつで、萩原委員のお店も出ています。もちろん私の店も出ております。こういう冊子になっていて、4カ月間有効になっております。裏面にはフロンターレのコマーシャルも入っておりますので、ぜひ買っていただきたいんです。980円です。中原区の大きな書店に出ておりますので、ぜひお買い求めいただきたいと思っております。ちょっとコマーシャルしました。申しわけありません。

井上副委員長 僕はこの委員の皆さんの中でも比較的若いほうで、その中でもいろいろ自由にやらせていただいたのは、皆さんに対して本当にありがたいという気持ちでいっぱいでした。僕自身は等々力陸上競技場で川崎フロンターレの試合を運営していく立場というのもあったので、この場は、中原区というところが生活のところでどういうふうに動いているか、皆さんがどういうことに興味を持っているのかとかというのを知れる場でした。あとは、スポーツを活用させていただいて、皆さんの生活に何か貢献できることがあればいいなと思って、それがある程度実践できたというところがすごくうれしかったです。

この会は一旦休止ということなんですけれども、立場は全く変わらず、これからもこういうスポーツを活用して、中原区のまちの発展に寄与していきたいと思っております。本当にどうもありがとうございました。

橋本副委員長 私は6年間務めさせていただきました。皆さんに副委員長としてなかなか力が出せなくて、委員長に迷惑をかけていたところが多かったと思います。私は今回の防災のテーマ、それからその前のまちをきれいにするというテーマは、それぞれ重要なことでありますので、区全体に定着していただくことが非常に大事なかなと思っております。ま

た、区民会議がなくなるようですが、やはりこういった多くの団体や年齢層から委員等を選ぶような形で区民の意見を聞きながら行政を進めるといったことが今後も必要になってくるかと思っておりますので、そういった面も今後どういう形で会議等が開かれるかわからないんですが、こういったものも参考にしていればというふうに行政のほうにお願いしたいと思っております。

成田委員長 最後になりましたが、皆さん、2年間本当にありがとうございました。私は3期6年務めさせていただきましたが、今この席に座っているのが実は非常に場違いだと最後まで思っております。長いだけでこの席に座るといのは、列席していらっしゃる皆様方のふだんの活動というのが物すごいもので、私は一介の小さい区民の、そのまた小さい区民でございますので、本当に申しわけない気分毎回出席させていただきましたが、皆さんが円滑な議事に御協力していただきまして、ここまで無事に終わることができました。本当に心よりお礼を申し上げます。

この中原区区民会議が発足した当初の人口ですが、2008年3月1日の中原区の人口が22万675人だそうです。ことし3月1日の人口が25万4727人ということで、3万4052人の増加になっています。私ごとですが、実は私の夫が秋田県の、青森に近い県境にあります鹿角市の出身なんです、その人口が同じことしの3月1日の時点で3万1524人なんです。1つの市の人口よりも多い人口が10年間にふえてしまったということで、1つの市が合併吸収されてしまったぐらい区の中でこれだけの人口増になるという場所も多分全国的にはすごく珍しいことではないかと思っております。

当初、区民会議から始まりまして、一貫して皆様方の審議テーマに出てきたのが地域という言葉、それからコミュニティという言葉がずっと何期にもわたり出てきました。これからは恐らく地方と大都市圏とで人口の格差というのは二極化が加速されていくことは間違いないと思っております。その中でここ中原区におきましては、施設面等のハードな部分が足りないこともさることながら、もっと必要なのが人と人とのコミュニケーション、日本各地から集まってこられた方々が中原区の中でどういう円滑なコミュニケーションをとりながら日々生活していくかということが今後は課題になっていくかと思っております。その中で区民会議にかわります新しい区民と行政とのいろいろなかわり方が活性化されることを私も望んでおります。

時間に関しましても、参加される方々に関しましても、きょうこの時間に出てこられない方、例えばふだん企業等にお勤めでなかなか休暇のとれない方、それから障害をお持ちでなかなか外に出られない方、外国籍の方、18歳未満の青少年の方、若々しいパワーの方々にも同時に会議に加わっていかれるような仕組みづくりができていければ本当にありがたいと思うのが、3期務めさせていただいて感じました私からの感想ということになります。皆さん、短い間でしたが、本当に最後までありがとうございました。

ここまで皆様に御協力いただきましたが、本当に最後になってしまいましたが、参与の

皆様方から一言ずついただきたいと思いますので、お願いいたします。まず、大庭参与からお願いいたします。

大庭参与 どうも委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。とりわけ委員長さん、副委員長さん、本当にお疲れさまでございます。私も区民会議は全日程出席することはできなかったんですけども、きょうの会議の議論も聞いておりました、本当に参考になりましたし、勉強させていただきました。とりわけ6期は防災を審議テーマにして行ってきたということで、これは本当に1回のテーマではなくて、ずっとこのテーマでやってもいい問題じゃないかなとつくづく思います。地域性もありますし、さまざまところで状況が違いますから、そういう意味で本当に大事な取り組みだったかなと思います。とりわけ親子サッカードリム教室の実践的な取り組みですとか、そういうことがやっぱり大事なかなと、きょう参加して勉強になりました。やはりこうした2年間の審議してきた内容を身近な地域にどう生かしていくのか、生かされていくのかというのがこれからの課題かなと思っておりますので、ここで皆さんが培ってきた内容などは地域に必ず生きるものだと思っておりますので、またぜひこういう場がありましたら私たちも積極的に参加していきたいと思っております。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

成田委員長 続きまして、押本参与、お願いいたします。

押本委員 改めましてこんにちは。まずはこの任期が6月までということでございますけれども、この2年間本当にお疲れさまでございました。また、長い方ですと前回の4年間、また委員長におかれては6年間、橋本副委員長、梅原委員も6年間ということになりますでしょうか。皆様におかれましては本当に感慨深いところもあるのかなと思いますけれども、改めて感謝を申し上げたいと思います。

第6期までの取り組みを「区民会議の取組」という冊子で拝見させていただきましたけれども、東日本大震災以降、防災に関する取り組み、テーマになる機会が多かったのかなと思います。今期についてはこれまでの教訓、反省というのが非常に集約をされて、3つの部会において効率的かつ効果的な実践をされたのかなと感じております。特にユニバーサル、ダイバーシティーと言ってもいいんでしょうか、また弱者支援、また先ほど小野山委員からもイベントに着目した世代間交流ということで、そういった視点のターゲットもよかったですし、最後の報告祭も、屋内ではなくて、屋外ということでありまして、この2年間の取り組みということだけでなく、ぜひ12年間の中原区区民会議の集約になるような会に、お祭りということでございますので、していただきたいと思っております。それぞれの立場でこの会に参加をしていただいたということでございますけれども、今回参加して学んだことをそれぞれの立場を生かして御活躍いただくことを祈念申し上げて、甚だ簡単ではございますけれども、この2年間の集約の一言の御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

成田委員長 続きまして、重富参与、お願いいたします。

重富参与 お疲れさまでした。人生初めての花粉症ですごく戸惑っているんですけども、ありがとうございます。スケジュールを今見させていただいて、先ほども何名かの方からお話がありましたけれども、恐らく1年前にテーマを変えるのか、それともこのままやるのかという激論があったと思うんですけども、私はあれがすごく次のステップアップにつながって今があるんじゃないかと思っていて、今回、最後、取り組みで終わるといのはすごくいいことだなと思っています。参加させていただいたときも、自分としては20代の声としていろいろ余計なことをお伝えさせていただいたんですけども、最後にお伝えついでということで1個だけ、このイベントでラリーのカードがあると思うんですけども、恐らくそれが参加者の方が確実に手にとるカードになるような気がするので、先ほどサッカーのときのカードを拝見したんですけども、あれプラス、区民会議だよということを知らせたいのであれば、それに関する記述を裏に入れる、もしくは区民会議ということはそこまでアピールしなくてもいいけれども、防災に関するアイデアだったりとか、知っていてほしいことを伝えたいということであればそれを裏に入れたりとか、なかなか区民会議の報告のパンフレットですといってもどうかなという感じもするので、あのカードはすごく有効に使えるのかなと感じました。

5月26日が集大成ということですので、私も行きたいと思いますので、よろしくお願います。ありがとうございます。

成田委員長 続きまして、松井参与、お願いいたします。

松井参与 皆さん、こんにちは。まずは6期の委員の皆様、大変長い2年間、お疲れさまでした。区民会議もいろんな議論があって今回で一応新たなステージに向かうということで一旦休止して、また新たな形で考えていくということでもあります。ただ、やはり今の区民会議はいろんな立場の方が出席されて、背負っているものはいろいろ違うんですけども、そこでいろんな意見が出てきて、本当にいい集まりだなと思っております。次のステージに行ったときも一定の意見の方が集まるんじゃないかと、いろんな意見を持った方が集まった新たな会議体になっていただきたいと思っております。

そして、5月26日の土曜日に報告会がありますけれども、今まで箱の中でやっていたのを外に一步出てやるということは本当にいいことだと思います。そういった意味では多くの方に参加していただける、知らなくてもそこを通れば何かやっているんだなというふうに多くの方が参加していただけると思っておりますけれども、ただ、やはり広報も大切だと思います。ホームページに載せたからいい、市政だよりも載せたからいいというわけではなくて、我々もできることはもっとお手伝いしなきゃいけないと思っておりますけれども、外に出て、こういうのがありますよというアピールも大切なのかなと思っております。26日は第6期の最後の大きなイベントでありますし、6期12年続いた区民会議の集大成ということでもありますので、成功していただきたいと思っておりますし、そのためにも我々も力をお貸しできるところはお貸しして、活動してまいりたいと思っております。まずは2年間本当にお疲れさ

までした。ありがとうございました。

成田委員長 君嶋参与、お願いいたします。

君嶋参与 皆さんお疲れさまでした。県会議員の君嶋です。2年間の最後の会議ということで、私はこの間、議会日程などでしばらく参加できなかったんですけども、きょう久しぶりに参加して、随分連携もばっちりだし、全体のチームワークというか、意思疎通などがスムーズにしているなという感じを受けました。最後ということで皆さん同窓会的に名残惜しんでいるような感じも見受けられまして、やはりこの2年間の取り組みというのが、言ってみればもっと長い方もいらっしゃると思いますが、うまくいったんだろうなと思っています。

そういった点で中身なども拝見しながら、市や区が行政だけでやるのではなく、こういった形をとることの意味というのが実感できるんじゃないかなと思いました。そういった点で、この会議としての成果というのはそれなりの手応えがある。皆さんも感じられていると思うんです。次の課題としては、ここで取り組まれたことや区民会議というのがあって、こういった市民の目から区民の目から問題を捉え直しているんだよということをもっと多くの方に知っていただく、やはり広報が問題かなと思いましたので、引き続き期待しております。私としては、こういった形で参加させていただいて勉強になりました。ありがとうございました。お疲れさまです。

成田委員長 参与の皆様方、今回は本当に貴重な御意見、それから本当に温かいお言葉をいただきまして、心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

それでは、皆様に御協力いただきまして円滑な議事を進めることができましたことに、副委員長とともに深く御礼を申し上げます。

以上をもちまして第6期最終の第7回中原区区民会議を閉会いたします。皆様、最後まで本当にありがとうございました。お疲れさまでした。

午後4時39分 閉会